

# セ ボ ネ

クガヤ

ランティア

ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン  
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2022.9 No.221

## 今月のトピック

### ●特集

子どもの学習支援の取り組み

### ●まちの市民力

のざわテットーひろば

### ●レポート

第3回せたがや居場所サミット～ケアする場所は「居場所」から～  
第43回せたがやふるさと区民まつりに参加しました



### ●イラストレーション コスモス

食べることが大好きで猫を愛してやまない  
世田谷ガール。

### ●わたしの世田谷

おじいちゃん、おばあちゃん、お隣さんや近所の子どもたち皆元気で活気の溢れる世田谷。今までもこれからも大好きな故郷です。

## 子どもの学習支援の取り組み

発達障害や学習障害の傾向があつて学校の授業についていけない、不登校の経験があるなど、さまざまな理由で学習面でつまづき、困っている子どもがいます。そんな子どもたちの気持ちに寄り添いながら、そばについて勉強を教えてくれるのが学習支援ボランティアの若者たちです。

勉強ができなくて自信をなくしがちな子どもの成長と、支援を行う若者自身の気付きにもつながる学習支援。今月号では、そんな優しい取り組みをご紹介します。



### 学習支援を求める子どもたち

玉川ボランティアビューローでは、2カ月に一度「チーム子どもサポート」のメンバーが集まり、自分たちの活動の様子を報告し、問題点や悩みを話し合う場が持たれます。集まるのは大学生から30才くらいまでの若者たち。学習面で困っている子どもたちに対し、本人の気持ちやペース、それぞれの特徴を尊重しながら学習支援を行うボランティアとして活動しています。

若者たちが支援をしているのは、さまざまな事情から勉強に向き合うことが苦手な子どもたち。世田谷ボランティア協会には、そんな子どもたちからのSOSが多く寄せられます。相談は、子どもを心配する保護者から、時には学校の先生から直接受けることもあります。

### 優しく関わるお姉さんとして

大学生の今尾春香いまおはるかさんが学習支援をしていたのは、外国にルーツを持つ中学生Aさんでした。Aさんは学校には行っているものの、日本語が苦手なこともあり、だんだん授業についていけなくなってしまっていました。

一般的に、勉強が難しくなる小学校高学年頃から、授業についていけなくなる子どもが出てくると言われています。Aさんも中学校に入るとますます勉強がわからなくなると、テスト期間に学校を休んでしまうこともありました。

世田谷ボランティア協会に相談を持ちかけたのは中学校の担任の先生。一人で学習を進めるのが難しく、勉強が苦になっているAさんに、そばについて教えてくれるお姉さんのような存在がいればと考えていました。一方、大学生になったらボランティアがしたいと情報を探していた今尾さん。イマ

ドキの中学生と関わりたいという思いもあり、手を挙げてくれました。

Aさんと今尾さんは、週一回放課後に学校で一緒に勉強を始めました。年齢の近い今尾さんにAさんも心を開き、家庭や学校のことなど勉強以外の話をしてくれることも。一緒に過ごす時間を楽しくてくれていたといいます。学習支援はAさんの中学校卒業まで2年近く続きました。今尾さんのサポートもあり、家でも勉強する習



慣ができたAさんは無事高校に合格。勉強が嫌いと言っていたのに、「勉強する気になった」という言葉を残して卒業していきました。

学習支援を通じて、今尾さんは、学びは誰かに押し付けられるものではなく、自発的な学びこそが重要なのだということ、社会の価値観ではなく、子ども自身の気持ちや価値観に寄り添い、気持ちを支えることが必要だと学んだと言います。「自分とのかかわりが、Aさんのこれからに少しでも役立つならうれしい」と話してくれました。

### 不登校気味の子どもに寄り添う

大学生の後藤杏花ごとうきょうかさんが支援するのは、不登校気味のBさん。Bさんが小学校4年生の時から週一回のペースで3年ほど支援を続けています。

Bさんのケースは、お母さんの相談から始まりました。学校に行

かない日、Bさんは区の『ほっとスクール』に通っています。『ほっとスクール』でも前向きに学習に取り組んでいるものの、放課後も勉強したいという依頼でした。コロナの影響で対面での学習支援ができなくなっても、オンラインと一緒に勉強を続けてきました。

長く学習支援を続けてきて、後藤さんもBさんの成長を感じています。以前より集中力が付き、自分で勉強しようという意欲を感じるようになってきました。オンラインということもあり、時間になっても姿を見せないこともあります。来てくれて「待っていたよ。来てくれてうれしいよ」と伝えることで、より信頼してもらえる関係づくりを心掛けています。

他にも、学習支援を通じて、ボランティアは支援する側と受ける側がお互いに支え合っているということを学んだ、と後藤さんは言います。Bさんの姿を見て成長を感じ、またBさんと楽しく話をす

ることがボランティアを続けるモチベーションになっていっているそうです。

マイペースな子どもに向き合う

中学生のC君はマイペースな男の子。昨年からオンラインでの学習支援を受けています。担当は社会人の山田瑞樹さん。仕事のあと、週一回平日の夜、C君と主に英語の文法の学習に取り組んでいます。

## ① 相談

学習支援が必要な子どもがいれば、世田谷ボランティア協会にご相談ください。お気軽にどうぞ！

## ② 面談

相談者の方と世田谷ボランティア協会の職員が直接会って、子どもの様子やご希望を伺います。必要に応じて子どもの同席もお願いします。

## ③ 募集

ホームページ等を通じて、ボランティアを募集します。

## ④ 顔合わせ

ボランティアと子どもとの顔合わせをします。お互いの相性がよければ、学習支援が始まります！

## ⑤ 活動開始

ボランティアの応募状況にもよりますが、早ければ相談から1ヶ月ほどで活動開始となります。

山田さんは、子どもの特徴にあった支援を心掛けています。「一見マイナスに見える特性も、見方を変えればプラスである」という考えのもと、「マイナスとプラスの矢印の向きを変えるつもりでC君に向き合っています。山田さんによると、C君はとてもきっちりしている子。規則性を重んじ、言われたことはしっかりとやりますが、その勤勉さを活かして伸ばしたい」と山田さんは考えています。勉強もマイペースで進めたいC

君は、補習塾にも通っているものの、どうしても決められたペースだとなついていけない教科や分野が出てきます。山田さんとの勉強は、学校や塾の進度に合わせるのではなく、C君の習熟度に合わせて基礎をしっかりと固めるやり方。最初の内容からみっちり復習しながら進めます。先週できなかったことが今週はできていたり、C君が成長する瞬間に立ち会える喜びを感じながら、山田さんはC君との時間を楽しんでいます。

「チーム子どもサポート」のミーティングでボランティアをサポート

個別の学習支援をしていると、どうしても進め方で迷ったり、家庭や学校について相談されたりと、ボランティアが悩む場面が出てきます。そのため、玉川ボランティアビューローでは、定期的に「チーム子どもサポート」のミーティングを開き、ボランティアの

若者たちをフォローしています。

ミーティングでは、若者たちが自分の活動を報告し、悩みだけでなく、うれしかったことも共有します。また、このミーティングでは、若者同士が支え合える関係づくりにも力を入れています。

山田さんは、始めた当初、どういう支援がよいのかと、どこか理想の答えを追い求め過ぎて窮屈な思いもあったと言います。しかし、ミーティングの中で他のメンバーの報告を聞き、それぞれ自分なりに工夫して支援をしていることを知り、「単一の正解はないんだ。その子に合った支援が一番の正解」と思えるようになったそうです。結果として自分も楽になり、関わりも深くなったと感じたと、ミーティングの成果を話してくれました。

他にも、自分のやっていることが本当にその子のためになっているのか分からないと、ミーティングで相談してきた学生がいます。

た。もっと別のやるべきことがあるのではないかとの悩みに、早速ボランティアビューローの職員が学校と連絡を取りました。その後、先生も交えての話し合いの場が持たれ、学生の中にあつたモヤモヤも解消したと言います。

そばで「わかった」を支える存在

「チーム子どもサポーター」には、区教育総合センター所属で、臨床心理士の森田規子先生もボランティアとして参加。さまざまなアドバイスをもらっています。

森田先生は、「子どもの話を聞いて、気持ちをはかるうとしてくれる人がいること。一緒に考えてくれる人がいることが、その子にとって力になる」とボランティアの若者を励まします。

ボランティアによる学習支援は、試験の点数や成績を上げることで目標ではありません。部活動で、後輩が先輩に教わるのに似て

いるかもしれません。自分の力だけで学ぶのが「難しい」「困った」というときに、誰かに手伝ってもらいながら乗り越え、「わかった」という体験を持つこと。そばにいて「わかった」を一緒に喜ぶ存在がいることが重要だと、森田先生は話します。

勉強につまづき、自信をなくしがちな子どもにとっては、寄り添って自信を取り戻す手助けをしてくれる学習支援ボランティア。そして、若者自身にとっては、新しい出会いの一つであり、社会で役に立っているという実感を持ち、自分の成長につながる機会ともなっています。

保護者、学校の先生、地域の支援者の皆さん、学習支援を求めているお子さんが近くにいれば、お気軽に世田谷ボランティア協会（ボランティアセンター）にご相談ください。お待ちしております。

～地域みんなで子育てしよう！～  
のざわテットーひろば



## まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



野沢の閑静な住宅地の中に「のざわテットーひろば」があります。ここは「地域の人みんなで子育てしよう・子どもたちに自由な遊び場を」という想いでつくられた子ども遊び場です。2002年にオープンしてから今年で20年、これを記念して7月18日に、これまで関わってきた方々による座談会が開催されました。

もともと空き地だったこの土地。地主の山縣恒子さんは地域のためにできることはないかと、乳幼児向けのプレーパークをつくることにしました。近隣から同意を得たり、建物を設けたり、果樹や高木を植えたりなど、場所を整えてオープン。今でこそ多世代の

人々で賑わっています。当初は閑散としていて心配だったとか。

運営を引き受けたのは近所で乳幼児の集まりをやっていた池田栄子さん。最初は週1日開園からスタート、運営資金確保のため世田谷まちづくりファンドに申請、活動が続いたのはこのファンドのおかげだそう。気をつけていたのは近隣関係。周りに迷惑をかけながらやっているという意識は常に持つてほしいと言います。

日々はプレーリーダー<sup>のいたけし</sup>によって担われています。3代目野下健さんは2004年に着任、途中から区のおでかけひろば事業を受託すること、週5日オープンできるようになったほか、ファンドの助

成金で、利用者に使いやすいよう、建物の壁を抜いたりトイレやデッキをつくったりなど大きく場の形を変えることができました。

続く4代目岩間祥子さんは2013年に着任。就職にあたりプレーパークを見て回ったそうですが、テットーひろばが一番居心地よかったとのこと。この頃には場ができており、毎日約20〜30組の親子が来ていたそう。来園した親子が一日テットーひろばで過ごせてよかったと思えるよう接し方を気を配ってきたと言います。

「ここで心がけていることは、初めての人も入りやすい場所、そして関わる人の『やりたい』を企画として実現すること」と司会の5代目石原遼さんは言います。来場者の中にはテットーひろばのウェルカムな雰囲気や原風景になっっているという方も。まさに人だけでなく場も育っているこの遊び場。ぜひ今後も続いてほしいと思います。

## 【レポート】第3回せたがや居場所サミット～ケアする場所は「居場所」から～

「居場所は誰でもつくれるよ」の合言葉で、2018年から始まった「せたがや居場所サミット」。新型コロナウイルスの感染拡大で、2年間のブランク（昨年は25回としてオンライン開催）を経て、3回目（7月2日（土）に駒澤大学で開催された。70年代から「住民参加」の活動がスタートした世田谷にはNPOが500以上、任意団体を含めると2000を超える地域活動グループがある。福祉関係のフォーラムで出会った子育て世代と高齢者で居場所をつくる団体の主催者3人が、「つながっていないのはもったいない。「居場所」というキーワードで、つなげてみようよ」と言い出したのが、



このサミットの始まりだ。新型コロナウイルスの感染状況が流動的だったため、今回はGOを出してから準備期間1か月という急ごしらえだったが、開催当日は37団体が参加。酷暑とコロナ感染者増加の影響で、一般参加者は例年より少なかったものの、3年ぶりのリアル開催とあつて、再会を喜ぶ顔、新しい出会いを楽しむ顔、「一緒にやろうね！」と語り合う顔、顔、顔……。やっぱりリアルがいいね！の声が会場のあちこちから聞こえてきた。

トークセッションの4団体も、「禁止」をなくし自由に子どもたちが遊べる場所を4年前からつくってきた「羽根木プレーパーク」。まちの空き地をみんなのたまり場にした「タマリバタケ」。さまざまな障害をもった人たちの自信回復につながる「レジリエンス・スポーツ」の場をつくる輝水会。そして、人々の出会いのつながりから、次々と活動を広げる「お

やまだいプロジェクト」。なんとも世田谷らしい、しなやかに楽しい報告を聞かせてくれた。

地域の活動は長年、行政に合作せて縦割りだった。子どもは子ども、障害者は障害者、高齢者は高齢者。「居場所サミット」では、世田谷の「何かを変えたい」という思いをもった人をごちゃ混ぜにすることで、それまで見えないバリアのあった「お隣さん」とのドアを開け、語り合いを始める機会をつくることのできたと思う。

世田谷の「居場所」はどんどん進化していく。まだ見ることはないそのチカラに、来年も出会いたい。

（寄稿／せたがや居場所サミット発起人 中澤 まゆみ）

## ご相談ください

### 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわか

### 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学

らないという方は、電話でご相談ください。お話を聴きながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター  
TEL 5712・5101

習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっています。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口  
TEL 5712・5101  
takai@otagaisana.or.jp

## ボランティア求む

### 東小 保育園に送ってくださる方を募集

喜多見にお住まいの保育園児(男子)を保育園に送ってくださる方を募集します。保護者はひとり親家庭でご病気があるため送っていただくのが難しい状態です。詳しくはお問い合わせください。

●場所/喜多見1丁目から徒歩15分程度の保育園まで  
●条件/女性で子どもとふれあうのが好きな方  
●問合せ/玷ボランティアビューロー 準備室 担当 池田  
TEL 6411・4007  
knutaborara@otagaisana.or.jp

### 小 千歳船橋駅近辺の小学校で弱視の児童のサポートをしてくださる方募集

小学1年生の女の子が、目の見えにくさのため、学校での生活や学習でのサポートを求めています。まわりの様子がわかりにくいので、様子を伝えて欲しいです。クラスのお友だちの名前を覚えるお手伝いもお願いします。

●日時/月・金曜の8時30分〜15時(午前中のみ可など、時間は応相談)  
●場所/千歳船橋駅近辺の小学校  
●交通/千歳船橋駅  
●問合せ/玷ボランティアビューロー 準備室 担当 久我  
TEL 6411・4007  
knutaborara@otagaisana.or.jp

授業中は「いま教科書のことを読んでいるのか」を教えてください。「黒板の文字が見えにくい」「黒板のどこを何を書けばよいのかわからない」ときは、学習用タブレット端末で黒板を撮るお手伝いをお願いします。そのほか学校生活にに応じてサポートをお願いします。

## ① 自宅最寄り駅から後楽園駅までの登下校に付き添ってくださる方募集

世田谷区内在住の知的障害のある女の子が、自宅最寄り駅（田園都市線の駅）から後楽園駅近くの学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要としています。現在、複数のボランティアさんとご家族で交代で付き添っていますが、あと何名か手伝ってくださる方がいると助かります。女の子は、高校2年生で大人しい性格です。電車での移動には慣れており、乗り換える駅や路線などは理解しているのですが、基本的に彼女が移動するのを側で見守っていただくさい。詳しくはお問合せください。

●日時／  
（登校）火・水：自宅最寄り駅7時40分ごろ待ち合わせ、9時ごろ学校着  
（下校）金：17時に学校前にお迎え、18時ごろ自宅最寄り駅着

●場所／自宅最寄り駅（田園都市線の駅）と後楽園駅近くの学校の間

●条件／女性、交通費支給  
●問合せ／玉川ボランティアビューロー  
TEL 3707・35228  
tanabora@otagaisama.or.jp

## ② スポーツイベント大会のボランティアスタッフ募集

世田谷区内の小中学生を対象にしたエアボクシング大会を今秋に開催いたします。子供達の頑張る姿、子供達の実顔、ボランティアに興味がある方、一緒に大会運営をしてみませんか。

ボランティア内容は、ボクシングリング設営・会場準備・大会運営補助・子供達の管理。スタッフの皆さんにはお昼のお弁当とお飲み物をご用意いたします。世田谷地域を盛り上げるために楽しみながら大会を作り上げていきましょう。

●日時／10月29日（土）9時〜16時  
●場所／池尻小学校第二体育館  
●交通／三軒茶屋駅徒歩8分  
●条件／大学生・専門学生・社会人（若さ溢れる元気な男女）  
●問合せ／世田谷区ボクシング連盟 担当 本田  
080・5542・0729  
setagayaboxing@gmail.com  
https://seabox.hp.perich.com/

## 有償スタッフ募集

### ③ 身体の不自由な中学生の勉強のサポートをして下さる方募集

給田在住の中学1年生の女の子の勉強をサポートをして下さる方を募集します。女の子は、神経難病のため身体が不自由で、人工呼吸器を使用して生活しています。主にタブレットを操作しながら勉強していますが、タブレットの操作のサポートや、問題を解いた後の丸付けをお願いしたいです。

●条件／5科目（国語、数学、英語、理科、社会）の内その都度、どれかをお願いする予定です。詳しくはお問い合わせください。

## ④ 地域住民の方の日常生活のお手伝いやお話し相手になってくれませんか？

上用賀に拠点を置く老人給食協力会ふきのとうのホームヘルプ部門です。地域住民の小さなお困りごとのお手伝いをする方を募集しています！

楽しんでもらうことを大切にしていきたいので、得意・不得意なことを調整していきます。大学生もご遠慮なくご連絡ください。今後子育て世帯のお手伝いもしていきたいと考えていますので、子育て経験がある方も大歓迎です。謝礼

●日時／日曜日13時〜17時の間で2時間程度（夏休みなどの期間は週2〜3回希望）  
●場所／給田にあるご自宅  
●交通／仙川駅徒歩20分  
●条件／2000円/回、タブレット操作に慣れている方  
●問合せ／砧ボランティアビューロー 準備室 担当 久我  
TEL 6411・4007  
kinutoba@otagaisama.or.jp

●日時／基本は平日で、土日祝日もあり。日時時間相談。  
●場所／上用賀周辺利用者さん宅  
●交通／利用者さん宅を訪問するため自転車があると便利  
●問合せ／老人給食協力会ふきのとう 担当 山森  
TEL 3706・25545  
yamamori\_nao@now.jp  
https://fukinotoh.mow.jp/

# 講座・その他・募集

## 小 子育て家庭・不登校にお子さん 訪問ワーカー養成講座

16時半

子育て家庭や不登校のお子さん  
を支える訪問ワーカーとして活動  
して下さる方を募集していま  
す。この講座では、子ども・若者・  
家族をめぐるさまざまな問題（虐  
待・不登校、いじめ、非行など）や、  
子どもと関わる上で大切なこと  
について、講義やグループワークを  
交えて考えていきます。活動に関  
心のある方は、どうぞお気軽にご  
参加ください。

●場所／喜多見地区会館2階  
（世田谷区喜多見8・23・23）

●交通／喜多見駅徒歩3分

●参加費／一般1000円  
学生500円

●申込み／電話かHPから

●問合せ／NPO法人日本子ども  
ソーシャルワーク協会

担当 水野

TEL 5727・2133

http://www.jcswj.jp/

●日時／10月22日（土）13時半

## 大人の発達障害オンラインカフェ「がたりば」

「発達障害ありません」「グレーゾ  
ーンかも」という方がオンライン  
で集うおしゃべりカフェ「がた  
りば」で、他の参加者やボランテ  
ィアスタッフと一緒に話しま  
せんか。何かについて話したい  
、なんとなく話したい、人の話を聞  
いてみたい、ちょっとしたぞいてみ  
ようなど、どんなスタンスで参加  
しても大丈夫。気軽にのぞいてく  
ださい。途中退席も大丈夫です。

●日時／毎月第3金曜日14時〜15  
時半

●場所／ZOOM（オンライン）

●参加費／無料

●条件／世田谷在住、在勤で発達  
障害のある方、自分は発達障害  
かもと思っている方

●申込み／当日午前中までに、玉  
川ボランティアアビュローまで  
メールをください。ZOOMの  
リンクをお送りします。件名に  
「がたりば参加希望」と明記し  
て下さい。

●問合せ／玉川ボランティアアビ  
ュロー

TEL 3707・35200

tamabara@otagaisama.or.jp

## 京 傾聴ボランティア講座（全5回）@粕谷区民センター

この傾聴ボランティア講座は、  
個人の方と対面で継続的に行う傾  
聴ボランティア活動のための講座  
です。話すこと、聴くことを体験  
学習を通して、グループで考え、  
感じながら学んでいきます。あな  
たも、傾聴ボランティア活動への  
一歩を踏み出してみませんか？

受講条件として全回参加できる  
方で、講座終了後、傾聴ボランテ  
ィアを始められる方をお願いしま  
す。

※9月1日（木）10時から電話受け  
●日時／各日火曜日 13時〜16時

9月20日「出会」

9月27日「ふれあう・言葉／態度」

10月4日「気持ちを知る」

10月18日「価値観の違い」

10月25日「傾聴ボランティアとは」

●場所／粕谷区民センター  
第1・第2会議室  
（粕谷4・13・6）

●交通／千歳烏山駅 徒歩10分

●参加費／8000円

●定員／15名

●問合せ／粕ボランティアアビ  
ュロー準備室

TEL 6411・4007

## Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かした  
い」「地域で活動したい」という、  
ボランティア活動をしたい方の経  
験や意欲などと、サポートを求め  
る方や団体などを、東京大学先端  
科学技術研究センターが開発した  
Aーシステムによるマッチングサ  
イト（世田谷版GBER）で結び  
付け、ボランティア活動を支援し  
ます。

詳細は左記QRコードからご覧く  
ださい。



上記掲載記事は8月17日時点の情報です。  
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

### ① 寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティアです。

バザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／

00150・8・2799963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

### ② 講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと二冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は、「名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局 担当 小畑・高居

TEL 5712・5101

childline@otagaisama.or.jp

## 第43回せたがやるさと区民まつりに参加しました

8月6日（土）、7日（日）に開催された『第43回せたがやふるさと区民まつり』に参加しました！ 私たちは、松陰神社で、毎年恒例のスライムづくり、わなげコーナー、そして、せたがやチャイルドラインの手づくり品、八女の土産を販売しました。想定以上に子どもたちが集まり、休み時間もなく（笑）大盛況のうちに終わることが出来ました。

中学生以上対象の夏のボランティア体験「ナツボラ」の参加者の皆さんもスタッフとして活躍。飛び入り参加のボランティアも加わり熱い2日間を乗り切りました！

普段、なかなか顔を合わせることが出来ない団体の皆さまとも交流することができ、久しぶりに充実したイベント参加となりました。

ご来場の皆さま、ボランティアの皆さま、一緒にお祭りを盛り上げた皆さま、ありがとうございました。



## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

### ●いのちを大切にすところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぼーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるね！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ！

### ◆センター&ビューローより

9月から開催する傾聴ボランティア講座@粕谷区民センターは、初の烏山地域で開催します。また、烏山地域の拠点づくりに向けて、現在取り組んでいます！

### ◆ふらっと& withより

コロナの嵐が過ぎ去り、穏やかな秋を探していつも通り出かけているふらっとのメンバー…と信じています。お立ち寄りください。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

### ◆チャイルドラインより

夏休みが明けは子どもたちの気持ちが揺れやすい時です。何か聞いてほしいことや、話したいことがある時は安心してかけてきてほしいです。

編  
集  
後  
記

■今回の特集は、世田谷ボランティア協会が取り組んでいる子どもの学習支援の取り組みについてご紹介させていただきました。学習支援のボランティアをして欲しい方や、そのボランティアをしたい方がいましたら、世田谷ボランティアセンターにお問い合わせください。

■今年の夏休みはステイホームをしていました。あまりにも暑いので外に出る気もなくなりましたが、これから少しずつ涼しくなっていくので、どこに行こうか考え中です。(近藤)

- 発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ  
https://www.otagaisama.or.jp/
- 発行人  
横山 康博

